

## 学部通信第7号

文責：平山 正敏

11月19日（水）に、大村城南高等学校との交流及び共同学習を行いました。

大村城南高等学校と今年度2回目の交流及び共同学習を行いました。前回とは場所を変え、大村城南高等学校に本校の生徒が向いての交流でした。

共同学習では、福祉を中心に学ぶ福祉系列の生徒が、ハンドマッサージや車椅子の操作の仕方などを手話や文字を提示しながら丁寧に教えてくれました。また、実際にハンドマッサージをしてもらったり、車椅子に乗る・車椅子を押すなどの体験を行ったりすることで、介護の現場で行われているサービスについて深く学ぶことができました。

親睦を深めるために企画されたレクリエーションでは、フリスピードッジボールを行いましたが、同じチームの生徒同士で声を掛け合いながら生き生きとゲームを楽しむことができました。前回と比べると、自然なやり取り・会話が増え、親睦が深まっている様子が見られました。

ハンドマッサージがもたらすリラックス効果を十分に感じているようでした。



車椅子体験では、「車椅子の操作がうまい」と城南高校の生徒からほめられる生徒が多かったです。



フリスピードッジボールは、大接戦に!!チームの結束が高まります。



本校生徒会長の締めの挨拶。

本校での交流時(1回目)に制作した物を渡しました。城南高校の生徒はとても喜んでくれました。

最後に集合写真!

